

アジア・ツーリズム・リーダーズ・フォーラム

急成長するアジアの観光発展を世界に発信  
UNWTO、PATAと東京宣言2016に調印

MICE & SPORTSをテーマに議論

「ツーリズムEXPOジャパンフォーラム2016」では9月23日、「アジア・ツーリズム・リーダーズ・フォーラム」を開催しました。

同フォーラムは、アジア市場で急激に拡大する国際観光旅行を見据え、今後3年間の共通テーマとして「持続可能な観光開発」がアジアが世界をリードするべきを設定。今回はMICE & SPORTSを年

度テーマに取り上げています。

フォーラムで挨拶したツーリズムEXPOジャパンの田川博己実行委員長は、「今年特に力を入れてい



「東京宣言2016」に調印後、ステージ上に並んだUNWTOアジア太平洋センターの福田純一代表、田川実行委員長、PATAのマリオ・ハーディCEO、JATAの志村格理事長(右から)

るのが、このフォーラムだ」と強調した上で、来年の国連による「開発のための持続可能な観光の国際年」を踏まえて、「急成長するアジアの観光をいかに持続的に発展させるかについて、世界と日本の知見を集めて、世界に発信する」と説明。「MICE & SPORTS」というテーマに相応しい素晴らしい登壇者の方々に参加いただいております。国連世界観光機関(UNWTO)や太平洋アジア観光協会(PATA)と共に東京宣言を行うことを明らかにしました。

日本が観光の質的成長をけん引

フォーラムは、第1部が「MICEセッション」、第2部が「Sportsセッション」、第3部が「ラップアップセッション」という構成で進められ、様々な視点からMICEとスポーツを切り口とする「持続可能な観光

開発」について議論を深めました。

第3部でモデレーターを務めたJTB総合研究所の高松正人常務取締役は、「サステーナブルツーリズムでは、経済・ビジネス、環境、社会文化という3つの面から持続可能性のバランスを取ることが求められ、MICEやスポーツでもその重要性は同じだ」と指摘しています。

同フォーラムで発表された「アジア・ツーリズム・リーダーズ・フォーラム 東京宣言2016」では、「持続可能な観光の発展が世界において重要な政策である」「アジアが世界の持続可能な観光の発展をリードする」「観光の質的な成長をけん引する日本」「スポーツイベントなどMICEは、観光と地域の持続的な発展に大きく貢献する」というフォーラムの共通認識が示されています。

ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー  
40を超えるテーマで専門的知見を習得

官民ビッグデータを集約し可視化

「ツーリズムEXPOジャパン2016」では、9月23日の業界日限定プログラムとして「ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー」を実施しました。専門的な「スペシャリスト」から立体的な視野を持った「プロフェッショナル」へステップアップするため、40を超えるテーマが用意された各セミナーには、多くの業界関係者が詰めかけました。

展示会場のAステージで実施された「RESAS(リーサス)地域経済分析

システム」の活用事例紹介、「ビッグデータで商機を掴め!!」では、経済産業省地域経済産業グループの田岡卓見地域経済産業調査室長が講師として登壇。内閣官房まちひとしとこ推進本部事務局の企画官も兼任する田岡室長は、産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するRESASがすでに、自治体や大学での授業などに活用されていることを紹介して、スクリーンを使いながら実際の事例などをもとに分かりやすく説明しています。

対応を進めないと旅行市場が縮小

「ユニバーサルツーリズム実践セミナー」では、JTB総合研究所の若原圭子主席研究員とJATA障害者差別解消法対応部会の田中穂積部会長が講師を務め、「ユニバーサルツーリズムの現状や超高齢社会で旅行業界が目指す方向性」「障害者差別解消法施行とお客様対応」などをテーマに講演が行われました。

若原主席研究員は、日本が世界に例を見ない水準とスピードで高齢化が進んでおり、対応を進めないと日本の旅行市場が縮小することから、「誰もが旅行を楽しめる環境の整備が急務」と訴えています。

田中部会長は、海外と国内の募集型企

画旅行や国内手配旅行などでの対応事例を紹介。顧客の要望、障害の程度やツアーの内容によつて、旅行の安全かつ円滑な実施に對してどのような支障やリスクがあるのか、などを見極め申し込みの段階で顧客と十分に話し合うことが重要である点も強調しました。



展示会場のAステージで実施された「RESAS」セミナー